

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : カットコロニー  
 会社名 : 恵美須薬品化工株式会社  
 住所 : 大阪市中央区平野町3丁目3番2号  
 担当部門 : 西成工場  
 担当者 : 石田 司  
 電話番号 : 06-6941-8287 ~ 9  
 FAX 番号 : 06-6941-9780  
 緊急連絡先 : 恵美須薬品化工株式会社 西成工場  
 緊急電話番号 : 06-6561-5016  
 作成・改訂年月日 : 2011/11/11

## 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学名	次亜塩素酸ナトリウム	リン酸二水素カリウム
含有量	有効塩素 0.1%	1.0%
化学式又は構造式	NaClO	KH <sub>2</sub> PO <sub>4</sub>
官報公示整理番号	化審法 1-237 / 安衛法 1-237	化審法 1-452 / 安衛法 1-452
CAS No.	7681-52-9	7778-77-0
国連分類及び国連番号	該当しない	

## 3. 危険有害性の要約

分類の名称 : 腐食性物質  
 危険性 : 常温でも徐々に分解して酸素を放出し、酸化作用のある酸と接触すると分解して塩素ガスを発生する。  
 金属類、天然繊維類の殆どのものを腐食する。  
 有害性 : 1. 腐食性は苛性ソーダに匹敵し、酸性溶液にあえば次亜塩素酸を遊離して皮膚、粘膜を刺激する。吸収による全身中毒はほとんど起こらない。  
 2. 眼に入った場合は激しい痛みを感じ、すぐ洗い流さないと角膜が侵される。  
 3. 液が長時間皮膚に接触すると刺激により皮膚炎、湿疹を生ずる。  
 4. 液のミストを吸収すると気道粘膜を刺激し、しわがれ声、咽喉部の灼熱、疼痛、激しい咳、肺浮腫を生ずる。  
 5. 誤って飲み込んだ場合、口腔、食道、胃部の灼熱、疼痛、まれには食道、胃に穿孔を生ずることもある。  
 環境影響 : 環境影響情報の項参照

## 4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに多量の水で15分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。  
 この場合、清浄な微温湯が容易に得られる場合は疼痛を軽減する点で冷水洗浄よりも効果がある。

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着又は接触部分を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。  
異常のある場合は医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 塩素ガスを吸い込んだ場合には次のように処理をする。
1. 咳が出る程度の時は、新鮮な空気の風通しのよい所で身体を楽にして休息させる。
  2. 塩素ガスで眼を痛めた時は、直ちに水道水で眼を開いたまま少なくとも15分間以上洗眼し、症状により医師の診断を受ける。
  3. 重症の場合は、ただちに医師を呼んでその指示に従う。
- 飲み込んだ場合 : 炭酸水素ナトリウム(重曹)30~50g/lの水溶液、又は多量の水を飲ませ、催吐を行う。  
速やかに医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火方法 : 本品は燃えない。  
周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消化剤 : 当該物質を巻き込んだ周辺の火災に適切な消火剤を使用すること。

## 6. 漏出時の措置

1. 多量の水で希釈し亜硫酸ソーダ等で処理して洗い流す。
2. 酸による中和は有毒な塩素ガスを発生する。
3. 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :
1. 換気の良い場所で取り扱う。
  2. 作業中に温度が上昇したり、pHは低下したり、重金属類の混入があると酸素又は塩素を放出するので注意する必要がある。
  3. アルミニウム製品は本剤で腐食される。
  4. 薄める場合の容器は金属製のものを避け、プラスチック又は、ホーロー製のものをを用いる。
  5. 繊維製品の漂白は白い綿製品に限る。色柄物は色がうすくなることがあり、羊毛、絹は縮んだり黄変したりする。合成繊維は黄変する恐れがある。
  6. 酸性物質が混入すると塩素ガスを発生して危険である。誤って酸と混合したときには、直ちに苛性ソーダ、消石灰等のアルカリで中和する。
  7. 発生した塩素ガスが周辺に拡散する恐れがあるときは関係者に連絡するとともに、風上に避難、誘導等の措置を講ずる。
  8. 取扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行う。
- 保管 :
1. 容器は直射日光を避け、子供の手の届かない冷暗所に保管する。
  2. 通風のよい所に保管する。

## 8. 暴露防止措置「塩素として」

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 :
- |             |   |   |
|-------------|---|---|
| 日本産業衛生学会    | : | 1.0ppm 2.9mg/m <sup>3</sup>   |
| ACGIH (TLV) | : | TWA 0.5ppm 1.5mg/m <sup>3</sup><br>STEL 1.0ppm 2.9mg/m <sup>3</sup>   |
| OSHA (PEL)  | : | TWA 0.5ppm 1.5mg/m <sup>3</sup> (刺激性)<br>STEL 1ppm 3mg/m <sup>3</sup> |
- 設備対策 : 直接取り扱う場所には、局所排気装置を設置する。  
また、全体換気装置の設置が望ましい。

保護具	:	呼吸器系保護具	:	ハロゲンガス用防毒マスク
		手の保護具	:	ゴム手袋
		目の保護具	:	ゴーグル型保護眼鏡
		皮膚及び身体の保護具	:	保護衣、ゴム長靴

## 9. 物理 / 化学的性質

外観	:	無色～淡緑黄色の透明の液体で、塩素臭がある。
比重	:	約 1
溶解性	:	容易に溶解する
引火点	:	なし
発火点	:	なし
爆発限界	:	なし

## 10. 安定性及び反応性

可燃性	:	なし
発火性（自然発火性、水との反応性）	:	なし
酸化性	:	あり
自己反応性・爆発性	:	なし
粉塵爆発性	:	なし
安定性・反応性	:	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次亜塩素酸ナトリウム溶液は不安定で分解しやすい。アルカリ性では比較的安定であるが、中性以下では極めて急激に分解反応を生じ、塩素ガスを発生する。</li> <li>2. 常温でも不安定で保存中に徐々に分解して酸素を発生する。</li> <li>3. 日光、特に紫外線により分解が促進され、また温度の上昇とともに分解率は増加する。</li> <li>4. コバルト、ニッケル、銅などの重金属及びその塩類が存在すると著しく分解を促進する。</li> <li>5. 強いアルカリ性と酸化作用により、金属類、天然繊維のほとんどのものを腐食させる。</li> </ol> <p>耐食材料として、チタン、ガラス、陶磁器などが優れている。そのほか、硬質塩化ビニル、ポリ塩化ビニリデン、フッ素樹脂が優れ、軟質塩化ビニル、ポリエチレンなども使用されている。</p>

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性	:	強い刺激性あり。長時間皮膚に接触すると、皮膚炎、湿疹を起こす。
刺激性	:	眼 ウサギ 10mg 中程度 眼に入ると角膜が侵される。
急性毒性	:	経口（マウス）LD50 雄 6.8ml/kg、雌 5.8ml/kg（有効塩素 10%） 幼児経口致死量 15～30ml/kg（5%液）
亜急性毒性	:	ラット（7週令）に飲料水として投与した場合2週間の投与で0.25%以上の濃度群において、又、13週間の投与では0.2%以上で、著しい体重抑制が見られた。
がん原生	:	日本産業衛生学会、ACGIH、NTP、IARCのいずれにも記載なし。
変異原生	:	データなし

## 1.2 . 環境影響情報

分解性	:	水中で徐々に分解する。
蓄積性	:	データなし
魚毒性	:	データなし

## 1.3 . 廃棄上の注意

1. 容器は使用後よく点検し、漏れや変質を防ぐため容器の変形、内部リング、塗装の亀裂、剥離、残留物の有無を確かめ、水洗、水切りをしておく。
2. 廃液はそのまま廃棄すると土地、河川を汚染して農作物、魚介類に影響を及ぼすので、亜硫酸ソーダ等の還元剤で処理し、多量の水で十分に希釈して放流する。
3. 酸を使用して分解すると塩素ガスを発生し、大気汚染防止上好ましくないので、完全な塩素ガス吸収装置のついた密閉容器中で分解後、廃棄する。

## 1.4 . 運送上の注意

1. 直射日光下の輸送は温度上昇によって分解が促進されるので好ましくない。
2. 酸と接触すると分解して塩素ガスを放出するので、酸類との混載は避ける。
3. 栓を上にして積載する。
4. 運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 1.5 . 適用法令

労働安全衛生法	:	危険物 酸化性物質
消防法	:	該当しない
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
化学物質管理促進法（PRTR法）	:	該当しない

## 1.6 . その他の情報

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報洩れがあるかも知れません。  
 また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。  
 重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられる事をお薦めします。  
 なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。  
 また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。